

校長室だより

日本福祉大学附属高校 2013年12月2日

万人の福祉のために

真実と慈愛と献身を



自分の未来が見えていますか 確かな羅針盤を

皆さんは5年後、10年後、どうしていると思いますか、どこで暮らし、何をしていると思いますか。私が高校生だった頃も、未来に対しての期待というより不安のほうが大きかったように思います。当時はオイルショックと呼ばれた経済の不安定な時代でしたが、現代も「100年に一度の経済危機、1000年に一度の大災害」と言う人もあるほどの厳しい時代です。就活で失敗した大学生の2割が「自殺を考えたことがある」というショッキングな記事が最近の新聞記事にありました。大学を出ても正社員になれない若者が増えており、「学卒後のフリーターはもはや、めずらしくない進路」(中日)という状況です。

確かに厳しい時代ですが、こんな時に必要な力は、将来の進路目標(羅針盤)を持ち、実現に向けて努力する持続力とあきらめない意志の強さだと言えます。そういう力は短期間でつくわけではありません。一日一日の確実なとりくみの繰り返しが、簡単にはへこたれない力を作るのです。失敗を怖れて「自分にはムリ」と最初から壁をつくって自分をガードする人はいませんか。そこからは新しい自分は生まれません。赤ん坊は何度も転ぶことで歩くことを覚えるのです。また何度も倒れながら自転車に乗れるようになったことを思い出してください。「失敗というものは転ぶことではない。そのまましゃがみこんだままにいることである。」

よく頑張りました

介護初任者研修に全員合格

6月からとりくんできた介護初任者研修の試験が11月初旬に実施されました。その結果、受講者40名全員が合格しました。それまでのホームヘルパー2級から名称も異なり、それに伴い、試験も課されるようになりました。今年度の受講生はより高いハードルを越えるために今まで以上の努力が求められました。合格者には11月30日(土)修了式が行われ、晴れて修了証が授与されました。おめでとう。

バレーボール部女子県大会出場

11/2(土)バレーボール部女子が県大会に出場しました(対安城学園)。残念ながら敗北しましたが、長年勤務している先生も記憶にないくらい久しぶりの県大会出場でした。特筆すべきことは部員が介護初任者資格試験と日にちが重なり、たった7人で出場したことです。人数は少なかったものの果敢に挑戦した姿勢に大きな拍手を送りたいと思います。○○○○○ ○○○○ ○○○○ ○○○○ ○○○○

11/23(土)県大会で上位3位以内を確保!

福祉大付属推薦入試に合格

今年度の付属推薦の結果が11/15(金)に発表され、受験者53名が全員合格しました。社会福祉24・子ども発達16・国際福祉開発5健康科学部8。どこの学部に進学するにせよ将来「ふつうのくらしのしあわせ」に貢献できるように、4年間しっかり頑張ってくれることを大いに期待しています。おめでとう。



福祉機器アイデアコンテスト入賞

福祉大学の第10回福祉機器アイデアコンテストにおいて、3年の平野杏樹さんが学生実行委員会特別賞を受賞しました。テーマは「おくすりチェック」。薬を服用する人を対象としたアプリで、薬を飲む時間と種類を入力しておくとおアラームで知らせてくれます。薬の飲み合わせチェックもしてくれ、注意が必要な場合はメッセージを表示してくれます。これは便利ですね。

和太鼓部優秀賞・来年の全国有力

正式決定は12月初旬に

介護職員初任者研修修了の皆さんへ

校長 岩本憲之

6月始めの介護職員初任者研修の開校式以来、無事修了式を終えるまでの約半年もの間の皆さんの頑張りを大いに讃えたいと思います。週末はもちろんのこと、特別に暑かった今年の夏も、休み中にもかかわらず熱心に講義に耳を傾けたり実習に励む皆さんの姿がありました。

開校式の挨拶の中でも触れた通り、ホームヘルパー2級研修が今年度から介護職員初任者研修に名称が変わりましたが、それは単に名称の変更だけではなく、質の高い介護が求められているという社会の要請と言えます。それに伴い今年度から規程の講義や実務研修をすべて出席し、かつ修了試験に合格するという今までよりもハードルの高い制度に変わりましたが、それらに果敢に挑戦し、見事に資格を取得した皆さんを、“フロンティア”と呼びたい気持ちです。

皆さんの「他人のために尽くしたい」という思いは、本学園を創立され、付属高校の初代校長を務められた鈴木修学先生が育てたいと願われた人物像そのものと言えます。

修学先生はハンセン病の患者さんや戦争で親を亡くし孤児となった子どもたちや知的障害児など弱い立場にある人々を救済され、その顕著な業績によって「日本の福祉を築いたお坊さん」として知られています。そして人類のために「自己を捧げることを惜しまない志の人を育て、社会に送り出したい」（建学の精神）と日本福祉大学や付属高校を創立されました。

今年はちょうど学園創立60周年という節目の年になりますが、皆さんが先生の教えを胸に刻み、「万人の福祉のために真実と慈愛と献身を」（学園標語）を身を持って具現化させようと励んでいる姿に、私は大きな喜びを感じないではられません。

介護初任者研修を無事修了した皆さんは、今後専門的知識や技術を生かし、お年寄りを始め介護が必要な方々のお役に立てることを期待しています。また、すぐにはそういう機会に接しない人もいるかもしれませんが、だからと言ってそれらは無駄であったとは決して考えないでください。研修を受けていない私が言うのはやや僭越かもしれませんが、皆さんはこの研修を通じてかけがえのないことを学んだことと思います。それは介護の知識や技術だけでなく、「他人を思う心」ではないでしょうか。

それはお年寄りだけでなく、皆さんがこれからの人生で出会うすべての人と、どのように接したらよいかの大きなヒントを与えていると思います。「相手の気持ちになって考えること」「他人の痛みや悲しみを理解し寄り添うこと」「共に生きて良かったと喜び合えること」などです。過去にヘルパー研修を終えた多くの生徒諸君が口をそろえて言いました。「最初は世話をしただけという上から目線で考えていたが、研修が終わった今、多くの大切なことを学ばせていただいてありがとうございましたという気持ちです」と。きっと皆さんもその一人に違いないと確信します。

最後になりましたが、無事修了にこぎつけたのは、市野先生はじめベタニアホームの諸先生方の方ならぬご指導の賜物と感謝申し上げます。ありがとうございました。

今月の言葉

愛の反対は憎しみではなく無関心です。
大切なのはどれだけたくさんのことを
したかではなく、どれだけ心をこめた
かです。 （マザーテレサ）

